

2025年5月22日

中国地域の経済動向

(2025年3月の指標を中心に)

～持ち直しの動きに足踏み感がみられる～

中国地域の経済は、生産は横ばい傾向、個人消費は緩やかな持ち直しの動きがみられる、雇用は有効求人倍率は前月に比べ上昇、新規求人数は前年同月比で減少など、全体として、持ち直しの動きに足踏み感がみられる。

※当局ホームページ (<https://www.chugoku.meti.go.jp>) にも同様の資料を掲載しております。

■項目別の動向

1. 生産動向・・・横ばい傾向

別添 中国地域鉱工業生産動向参照

2. 個人消費・・・緩やかな持ち直しの動きがみられる

別添 中国地域百貨店・スーパー販売動向参照

3. 雇用・・・有効求人倍率は前月に比べ上昇、新規求人数は前年同月比で減少

4. 景況感・・・現状、先行きともに前月に比べ低下

5. 貿易・・・輸出、輸入ともに前年同月比で減少

6. 建設動向・・・公共工事、住宅建設ともに前年同月比で増加

7. 企業倒産・・・件数、負債総額とも前年同月比で減少

8. 設備投資・・・2025年度計画は前年度を上回る見込み

※各項目の詳細については、次頁以降を参照してください。
※基調における下線は、前回からの変更箇所です。

(本発表資料のお問合せ先)

総務企画部企画調査課長 中野 伸二

電話:082-224-5633

メール:bzl-chugoku-chosa@meti.go.jp

1. 生産動向 ～横ばい傾向～

(中国地域鉱工業生産動向 2025年3月 速報)

2025年3月の鉱工業生産指数は 98.3、前月比 ▲5.0%の低下となった(2020年=100、季節調整済)。出荷は低下、在庫は上昇、在庫率は上昇となった。

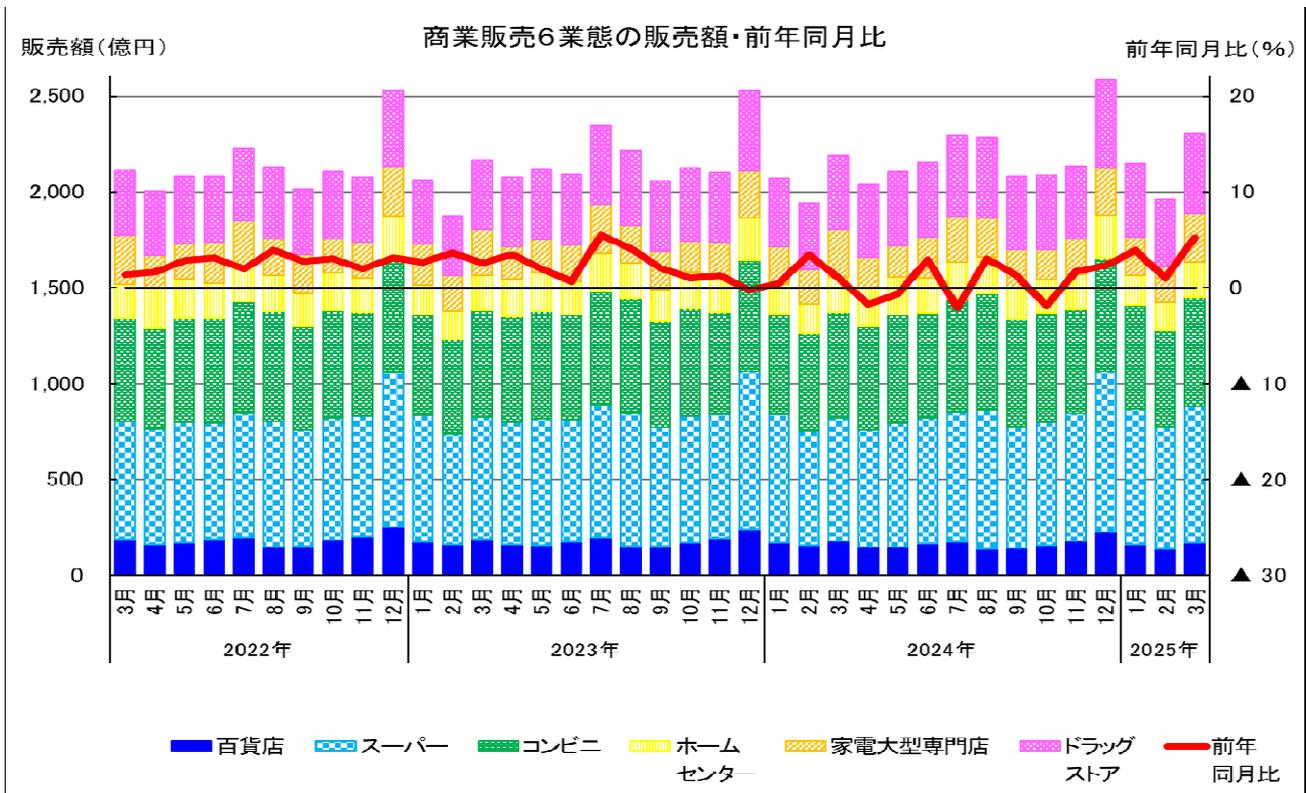
2. 個人消費 ～緩やかな持ち直しの動きがみられる～

3月の商業6業態の販売額は2,301億円で、前年同月比5.2%と5か月連続で前年を上回った。

3月の乗用車新車登録・届出数は、普通乗用車、小型乗用車、軽乗用車が前年同月を上回り、合計では前年同月比14.6%と3か月連続で前年を上回った。また、3月の消費者物価指数(生鮮食品を除く総合指数)は前年同月比3.5%の上昇となった。

(1)商業6業態(3月)

		(百万円)			(全店舗、%)
(6業態における構成比)		販売額	前年同月比		(前月の前年同月比)
6業態		230,106	5.2	5か月連続 プラス	(1.0)
百貨店・スーパー		88,076	7.5	5か月連続 プラス	(2.4)
百貨店	(7.4%)	16,953	▲ 4.8	19か月連続 マイナス	(▲ 8.9)
スーパー	(30.9%)	71,123	10.8	5か月連続 プラス	(5.4)
コンビニエンスストア		56,906	2.9	2か月ぶり プラス	(▲ 1.3)
ホームセンター		18,150	1.0	2か月ぶり プラス	(▲ 2.0)
家電大型専門店		25,601	4.1	5か月連続 プラス	(4.4)
ドラッグストア		41,373	6.6	39か月連続 プラス	(0.6)



- ・百貨店の販売額は170億円で、前年同月比▲4.8%と19か月連続で前年を下回った。
- ・スーパーの販売額は711億円で、前年同月比10.8%と5か月連続で前年を上回った。
- ・コンビニエンスストアの販売額は569億円で、前年同月比2.9%と2か月ぶりに前年を上回った。
- ・ホームセンターの販売額は182億円で、前年同月比1.0%と2か月ぶりに前年を上回った。
- ・家電大型専門店の販売額は256億円で、前年同月比4.1%と5か月連続で前年を上回った。
- ・ドラッグストアの販売額は414億円で、前年同月比6.6%と39か月連続で前年を上回った。

(単位:百万円、%)

	百貨店			スーパー			コンビニエンスストア		
	販売額	前年(同月)比	店舗数	販売額	前年(同月)比	店舗数	販売額	前年(同月)比	店舗数
2022年	213,575	3.2	13	763,978	2.1	328	651,000	2.6	3,065
2023年	211,271	▲ 1.1	13	793,196	3.8	328	665,865	2.3	3,066
2024年	197,780	▲ 6.4	12	800,298	0.9	330	670,147	0.6	3,056
2024年3月	17,801	▲ 5.2	12	64,164	1.1	328	55,301	▲ 1.0	3,050
4月	14,527	▲ 10.4	12	61,479	▲ 3.3	328	54,118	▲ 1.3	3,050
5月	14,865	▲ 5.2	12	64,678	▲ 1.5	329	56,212	▲ 0.3	3,045
6月	16,684	▲ 4.8	12	65,326	3.8	330	54,873	▲ 0.3	3,044
7月	17,397	▲ 11.3	12	67,755	▲ 2.1	330	59,046	▲ 0.2	3,051
8月	13,685	▲ 10.7	12	72,539	4.3	330	60,278	1.0	3,053
9月	14,473	▲ 3.5	12	63,122	1.2	330	55,695	1.2	3,054
10月	15,470	▲ 8.1	12	64,509	▲ 2.1	329	56,940	1.0	3,056
11月	17,839	▲ 5.7	12	66,307	2.5	329	54,598	1.7	3,056
12月	22,727	▲ 5.2	12	83,319	1.5	330	59,325	2.1	3,056
2025年1月	16,022	▲ 5.1	12	70,946	5.9	336	53,899	2.1	3,052
r 2月	14,048	▲ 8.9	12	63,348	5.4	336	50,265	▲ 1.3	3,060
p 3月	16,953	▲ 4.8	12	71,123	10.8	336	56,906	2.9	3,054

	ホームセンター			家電大型専門店			ドラッグストア			商業6業態 計	
	販売額	前年(同月)比	店舗数	販売額	前年(同月)比	店舗数	販売額	前年(同月)比	店舗数	販売額	前年(同月)比
2022年	224,042	▲ 1.2	403	247,359	▲ 1.4	181	415,822	6.0	971	2,515,776	2.3
2023年	219,575	▲ 2.0	403	241,928	▲ 2.2	177	442,477	6.4	1,015	2,574,312	2.3
2024年	218,856	▲ 0.3	402	239,785	▲ 0.9	176	468,122	5.8	1,045	2,594,988	0.8
2024年3月	17,971	▲ 0.8	403	24,593	1.9	176	38,800	7.4	1,025	218,630	1.0
4月	19,954	▲ 0.3	403	16,112	▲ 3.0	176	37,402	4.2	1,027	203,592	▲ 1.7
5月	19,849	0.2	403	16,241	▲ 7.6	176	38,552	5.2	1,030	210,397	▲ 0.6
6月	18,196	2.2	403	21,021	10.6	176	39,118	6.0	1,029	215,218	2.9
7月	18,999	▲ 3.6	403	24,469	▲ 4.9	176	41,691	2.3	1,032	229,357	▲ 2.1
8月	19,270	5.4	403	20,735	5.7	176	41,715	6.8	1,036	228,222	3.0
9月	16,828	1.5	403	19,968	0.3	176	37,822	3.7	1,038	207,907	1.2
10月	17,272	▲ 8.0	400	15,664	▲ 5.3	174	38,800	1.5	1,038	208,656	▲ 1.9
11月	18,061	0.9	401	19,028	1.9	176	37,818	4.6	1,043	213,651	1.7
12月	22,387	0.2	402	24,695	0.8	176	45,938	10.6	1,045	258,390	2.3
2025年1月	15,411	2.1	401	20,055	3.6	176	38,632	8.1	1,047	214,965	3.9
r 2月	14,674	▲ 2.0	400	18,690	4.4	176	34,952	0.6	1,051	195,978	1.0
p 3月	18,150	1.0	402	25,601	4.1	176	41,373	6.6	1,059	230,106	5.2

注1:p は速報値、rは確報値。ただし、2024年分は年間補正值。

注2:百貨店、スーパー及び商業6業態の販売額は、単位未満を四捨五入しているため、内数の計と合計が一致しない場合がある。

注3:表中の数値は全店ベースの数値。

参考：広島市の気温

対平年+ 1.1℃ 対前年+ 1.0℃

★★ 2025年3月の動き（各店舗の声から）★★

【百貨店】

寒暖差が激しく、春物のインナーなど衣料品が振るわなかったほか、ハンドバッグ、靴などの身の回り品が低調だった。また、飲食料品は価格上昇により総菜や鮮魚が低調だった。そのほか、前年の駆け込み需要の反動で化粧品の売上が減少した。

【スーパー】

価格上昇により米、葉物野菜の売上が増加したほか、カット野菜や漬物が好調だった。また、ひなまつりは刺身や寿司などのハレの日メニューに良い動きがみられた。そのほか、値上げ前の駆け込み需要で酒類が好調だった。

【コンビニエンスストア】

販売促進効果と割安感でおにぎり、パン、揚げ物が好調だった。また、気温上昇により飲料、アイス、サラダが好調だった一方、カップ麺が低調だった。

【ホームセンター】

気温上昇により農業資材や野菜苗、肥料などの園芸用品、DIY用品が好調だった。また、価格上昇により米の売上が増加したほか、値上げ前の駆け込み需要で酒類が好調だった。一方、節約志向により、インテリア、収納用品などが低調だった。

【家電大型専門店】

決算セールが好調だったことに加え、寒暖差が激しくエアコンが好調だった。また、新生活需要により軽量のノートパソコンが好調だったほか、携帯電話に良い動きがみられた。

【ドラッグストア】

価格上昇により米、衣料用洗剤などの売上が増加した。また、花粉症対策の鼻炎薬、目薬が好調だったほか、感染性胃腸炎対策の除菌剤などに動きがみられた。そのほか、気温上昇によりUVケア商品が好調だった。

(2)乗用車新車登録・届出数

(前年同月(期)比%)

		2022年	2023年	2024年	2024年		2025年	2024年	2025年		
					7-9月	10-12月	1-3月	12月	1月	2月	3月
乗用車新車登録・届出数	中国	▲ 5.9	15.5	▲ 8.7	1.2	▲ 1.2	18.8	▲ 7.4	20.1	23.0	14.6
	普通乗用車							▲ 0.6	14.7	7.2	2.8
	小型乗用車							▲ 22.0	27.3	49.7	35.9
	軽乗用車							▲ 6.2	22.4	29.3	19.4
	全国	▲ 6.2	15.8	▲ 6.7	1.2	▲ 3.2	14.0	▲ 7.0	15.0	18.9	9.5

(中国運輸局資料をもとに当局作成)

(3)消費者物価指数(生鮮食品を除く総合指数)

(2020年基準・前年同月(期)比%)

		2022年	2023年	2024年	2024年		2025年	2024年	2025年		
					7-9月	10-12月	1-3月	12月	1月	2月	3月
消費者物価指数	中国	2.4	3.1	2.4	2.6	2.6	3.3	3.0	3.3	3.1	3.5
	全国	2.3	3.1	2.5	2.6	2.6	3.1	3.0	3.2	3.0	3.2

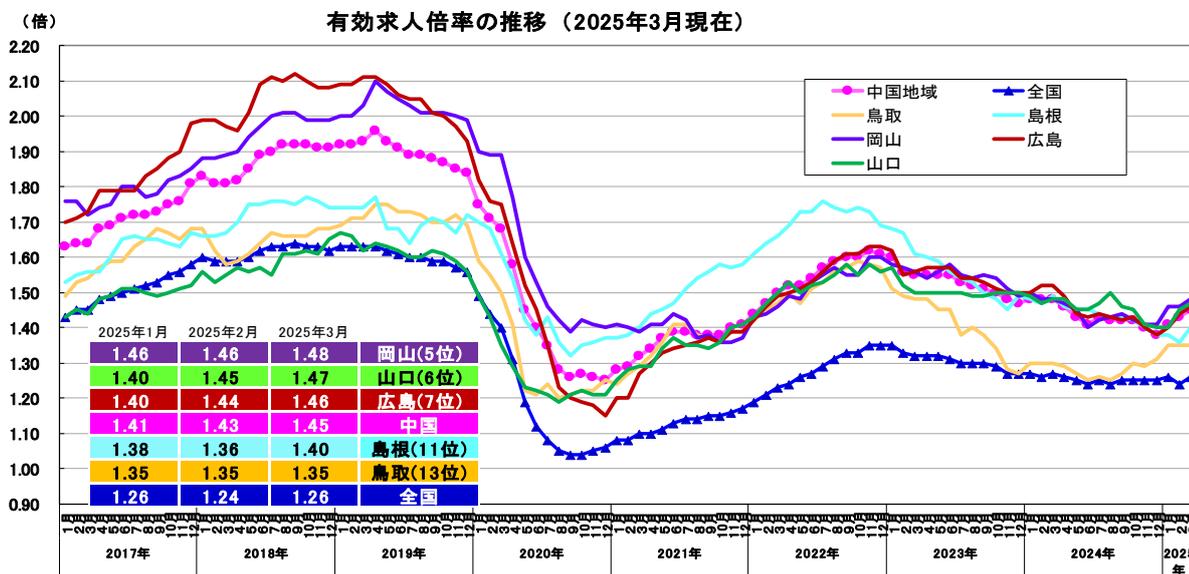
(資料 総務省 ※中国地域四半期は当局計算値)

3. 雇用 ～有効求人倍率は前月に比べ上昇、新規求人数は前年同月比で減少～

3月の有効求人倍率は、1.45倍で前月の値を0.02ポイント上回り、3か月連続の上昇となった。また、新規求人数(原数値)は、前年同月比▲4.6%で5か月連続の減少となった。

		2022年	2023年	2024年	2024年 7-9月	10-12月	2025年 1-3月	2024年 12月	2025年 1月	2月	3月
有効求人倍率 ^{※1}	中国	1.55	1.53	1.43	1.42	1.40	1.43	1.38	1.41	1.43	1.45
	全国	1.28	1.31	1.25	1.24	1.25	1.25	1.25	1.26	1.24	1.26
新規求人数	中国	63,735	62,265	58,634	57,141	58,431	59,851	56,157	63,414	59,074	57,064
		10.8	▲ 2.3	▲ 5.8	▲ 6.0	▲ 4.7	▲ 3.7	▲ 7.3	▲ 1.8	▲ 4.9	▲ 4.6
上段:人(原数値)	全国	866,369	866,937	836,071	814,174	837,457	851,359	790,791	907,161	840,398	806,519
下段:前年(同期・同月)比%		10.8	0.1	▲ 3.6	▲ 3.8	▲ 1.6	▲ 3.1	▲ 3.7	▲ 0.4	▲ 5.9	▲ 3.0
完全失業率 ^{※2}	中国	2.2	2.1	2.2	2.1	2.0	2.5	—	—	—	—
	全国	2.6	2.6	2.5	2.6	2.3	2.4	2.5	2.5	2.4	2.5

(資料:厚生労働省、総務省 ※有効求人倍率の中国地域年・四半期、新規求人数の中国地域、新規求人数全国前期比は当局計算値)

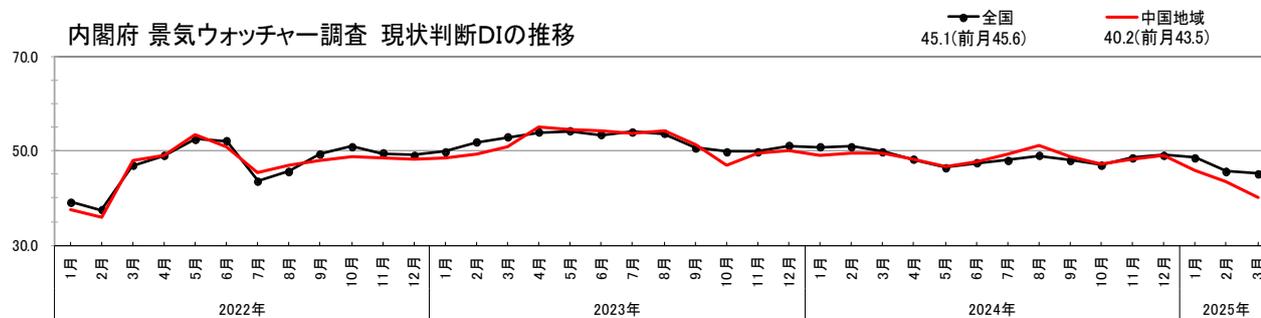


(資料:厚生労働省)

4. 景況感 ～現状、先行きともに前月に比べ低下～

内閣府の景気ウォッチャー調査(令和7年3月調査結果)によると、中国地域の3か月前と比較しての景気の現状に対する判断DI(方向性)は40.2となり、前月差3.3ポイントの低下となった。

2～3か月先の景気の先行きに対する判断DIは42.3となり、同3.2ポイントの低下となった。



(資料:内閣府)

※1 年は原数値。月、四半期は季節調整値。年、四半期は平均。

※2 年、四半期は原数値。月は季節調整値

5. 貿易 ～輸出、輸入ともに前年同月比で減少～

3月の輸出は、前年同月比▲11.0%と2か月連続で前年を下回った。品目別では、石油製品、自動車などが前年を下回った。地域別では、アジア、中東向けなどが前年を下回った。

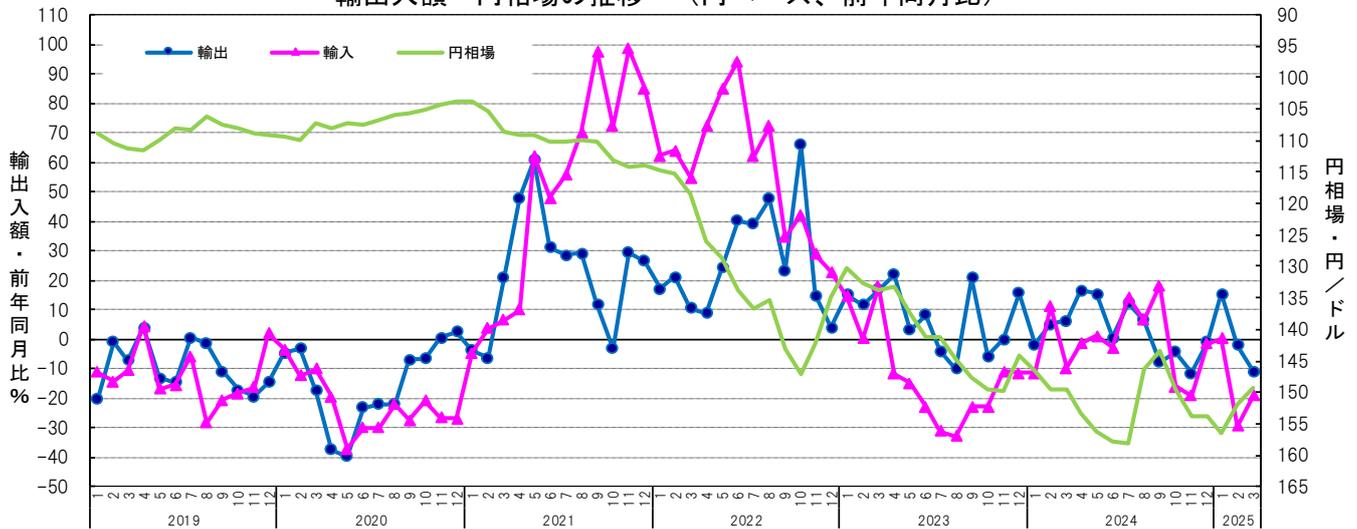
3月の輸入は、前年同月比▲19.3%と2か月連続で前年を下回った。品目別では、原油及び粗油、金属鉱及びびくずなどが前年を下回った。

(通関ベース、円ベース、前年同月(期)比%)※4

		2022年	2023年	2024年	2024年		2025年	2024年	2025年		
					7-9月	10-12月	1-3月	12月	1月	2月	3月
輸出	総合										
	中国地域	25.3	6.9	2.7	3.2	▲ 5.4	▲ 0.4	▲ 0.9	15.4	▲ 2.1	▲ 11.0
	全国	18.2	2.7	6.2	4.5	3.2	7.4	2.7	7.3	11.4	4.0
	自動車(中国地域)※3	18.9	34.2	▲ 3.2				▲ 16.8	18.3	8.7	▲ 13.3
	鉄鋼(中国地域)※3	36.3	▲ 12.9	▲ 5.0				▲ 1.0	1.2	▲ 12.6	▲ 18.7
輸入	総合										
	中国地域※3	55.1	▲ 14.0	▲ 1.8	12.9	▲ 12.1	▲ 16.2	▲ 1.4	0.1	▲ 29.5	▲ 19.3
	全国※3	39.6	▲ 6.8	2.0	6.8	▲ 0.5	5.9	1.8	16.3	▲ 0.7	1.8
	原粗油(中国地域)※3	79.0	▲ 23.4	▲ 20.9				▲ 27.0	▲ 13.5	▲ 35.4	▲ 42.7
	石炭(中国地域)※3	182.5	▲ 21.8	▲ 19.8				10.2	▲ 19.5	▲ 17.2	▲ 26.4
為替※5	円/ドル	131.38	140.48	151.48	149.22	152.36	152.54	153.72	156.49	151.96	149.18

(資料：財務省、日本銀行 ※四半期、中国地域の品目は当局計算値)

輸出入額・円相場の推移 (円ベース、前年同月比)



※3 月次は速報値。

※4 数値は確報、確々報、確定報により修正されることがある。

※5 為替は東京インターバンク相場(スポット 月中平均 中心、日本銀行公表)

6. 建設動向 ～公共工事、住宅建設ともに前年同月比で増加～

3月の中国地域の公共工事請負金額は、国、独立行政法人等、県、市町村、その他公共的団体すべてで前年を上回った。合計では前年同月比46.1%と10か月ぶりに前年を上回った。

3月の新設住宅着工戸数は、分譲住宅で前年を下回ったものの、持家、貸家、給与住宅で前年を上回った。合計では前年同月比39.3%と3か月ぶりに前年を上回った。

(前年同月(期)比%)

		2022年度	2023年度	2024年度	2024年		2025年	2024年	2025年		
					7-9月	10-12月	1-3月	12月	1月	2月	3月
公共工事請負金額	中国	▲ 0.3	8.8	0.4	▲ 13.0	▲ 10.0	12.3	▲ 18.1	▲ 9.2	▲ 26.7	46.1
	全国	▲ 0.4	5.3	3.2	2.2	1.2	▲ 3.6	▲ 5.7	▲ 1.3	▲ 22.5	6.0
新設住宅着工戸数 ^{※6}	中国	▲ 0.3	▲ 12.4	▲ 3.8	▲ 7.2	4.4	3.9	33.5	▲ 16.6	▲ 12.4	39.3
	全国	▲ 0.6	▲ 7.0	2.0	▲ 2.0	▲ 2.4	13.1	▲ 2.5	▲ 4.6	2.4	39.1

(資料:「公共工事請負金額(中国地域)」(西日本建設業保証(株)広島支店)、「同(全国)」(北海道建設業信用保証(株)、東日本建設業保証(株)、西日本建設業保証(株))「新設住宅着工戸数」(国土交通省)
 ※公共工事請負金額・新設住宅着工戸数の四半期は当局計算値)

7. 企業倒産 ～件数、負債総額とも前年同月比で減少～

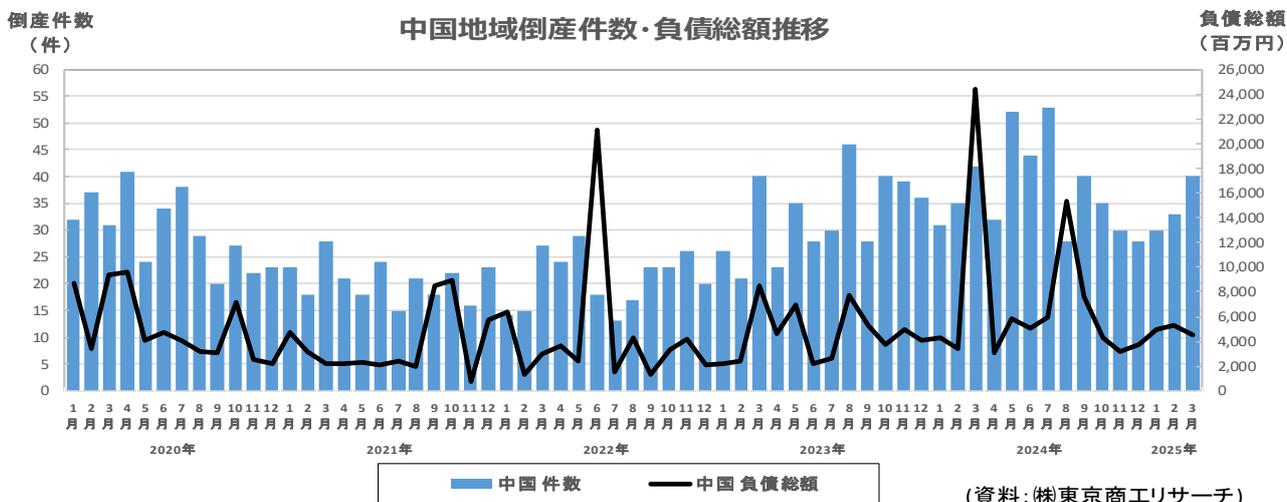
3月の企業倒産件数は40件で、前年同月比▲4.8%と6か月連続で前年を下回った。また、負債総額は44億6,900万円で、前年同月比▲81.7%と3か月ぶりに前年を下回った。

業種別にみると、サービス業他が12件、建設業が10件、製造業が7件、卸売業が5件などとなった。原因別にみると、販売不振が32件、他社倒産余波が3件などとなった。

(前年同月(期)比%)

		2022年	2023年	2024年	2024年		2025年	2024年	2025年		
					7-9月	10-12月	1-3月	12月	1月	2月	3月
企業倒産件数	中国	0.8	57.4	14.8	16.3	▲ 19.1	▲ 4.6	▲ 22.2	▲ 3.2	▲ 5.7	▲ 4.8
	全国	6.6	35.2	15.1	10.9	7.6	6.0	4.0	19.8	7.3	▲ 5.8
負債総額	中国	20.6	1.2	56.6	85.3	▲ 11.6	▲ 54.0	▲ 8.8	15.2	58.2	▲ 81.7
	全国	102.6	3.1	▲ 2.5	5.5	20.0	8.4	88.0	53.5	22.7	▲ 30.7

(資料: (株)東京商工リサーチ ※小数点以下第2位で四捨五入した値 四半期は当局計算値)



※6 数値は公表元の修正にあわせて修正されることがある。

8. 設備投資 2025年度計画は前年度を上回る見込み

日本銀行広島支店の企業短期経済観測調査結果(2025年3月)によると、2025年度の設備投資額(含む土地投資額)は、製造業が前年度比12.6%、非製造業が同▲0.9%となり、全産業では同5.7%となっている。

◆企業短期経済観測調査結果(2025年3月調査)

設備投資額(含む土地投資額)

(前年度比・%)

		2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度 実績見込み	2025年度 計画
中国	全産業	9.3	5.9	20.3	5.7
	製造業	2.5	3.1	12.5	12.6
	非製造業	18.3	8.9	28.7	▲ 0.9
全国	全産業	9.2	10.6	8.1	0.1
	製造業	9.0	6.7	11.6	5.4
	非製造業	9.3	12.8	6.2	▲ 2.9

(資料: 日本銀行、同広島支店)

